

令和元年度明るい選挙啓発ポスターコンクール優秀作品集

応募状況



	平成30年度	令和元年度	前年比
応募作品数	379	380	↑
応募市町村数	15	13	▲2
応募学校数	45	38	▲7

優秀作品



	小学校	中学校	高校	計
最優秀賞	1	1	1	3
優秀賞	2	2	2	6
入選	3	3	3	9
準入選	8	6	1	15
佳作	15	13	2	30
計	29	25	9	63

最優秀賞

小学校の部



久保杉 愛瑠

八戸市立豊崎小学校(4年)

～審査員コメント～

投票日には家族みんなで出かけ、選挙の話をしたくなるような作品です。レタリングのニコニコマークや、背景の赤の三角を左へ向かう人たちの進行方向を示すように効果的に配置するなど、デザインの工夫がたくさん見られます。リズム感のある楽しいポスターになりました。

中学校の部



工藤 朝陽

黒石市立黒石中学校(1年)

～審査員コメント～

選挙とゲームの世界を融合させた発想がユニークです。白と黒のシンプルな画面の中で、投票用紙がゲームのキャラクターとなり、「行こう、選挙」と呼びかけます。その口元は矢印で描かれ、投票箱へ導いています。様々なアイデアが散りばめられたポスターです。

高等学校の部



吉村 涼菜

八戸工業大学第二高等学校(1年)

～審査員コメント～

円と四角の組合せによるシンプルな構図と抑えた色数で、パッと目に入りやすく、投票しようというメッセージを強く印象付けるポスターです。レタリングが丁寧に描かれており、見る人にとって分かりやすい画面になっていることも、よい点です。

優秀賞 (小学校の部)



魚住 咲葵

むつ市立第二田名部小学校(1年)

～審査員コメント～

画面いっぱいに描かれたカラフルなカタツムリと、楽しく遊ぶ子どもたち、木々や花もたくさんの色にあふれ、幸せな気持ちになる作品です。このような笑顔あふれる豊かな暮らしができるよう、「明るいせんきょ」について、しっかりと考えたいポスターになりました。



三上 佳凜

八戸市立白銀南小学校(2年)

～審査員コメント～

伸び伸びと育つタンポポの花や、飛んでいく綿毛に子どもたちがつかまり、街並みを高いところから楽しそうに眺めています。建物は色とりどりで、「ゆめがかんうせんきょ」という言葉にぴったりな表現です。子どもたちの遊ぶ声が聞こえてくるようなポスターです。

優秀賞（中学校の部）



南 匠

八戸市立三条中学校(3年)

～審査員コメント～

夕暮れ時、木に寄りかかり、ゆったりと過ごす少年が持っているのは投票用紙でしょうか。木の枝にも投票用紙が葉っぱのように息づいています。作者が願う「平和な未来」につながる一票の大切さを、表現力豊かに描きました。



高橋 朋華

黒石市黒石中学校(3年)

～審査員コメント～

暖色のグラデーションを背景に、投票所に来ている親子を描き、大人の責任を静かに訴えかける作品です。柔らかく温かい画面とは対照的に、そのメッセージは、日本の選挙ばなれの課題を鋭く表現しています。

優秀賞（高等学校の部）



竹内 萌

青森県立浪岡高等学校(1年)

～審査員コメント～

選挙に向かう明るいメッセージを、小鳥や虹を使って表現しました。すっきりとした画面構成と、青紫色の背景に補色である黄色で小鳥を描くことで、はっきりと見やすく、分かりやすいポスターになっています。



原 杏美

八戸工業大学第二高等学校(2年)

～審査員コメント～

18歳の女子高生が見つめる先には、彼女が持っている投票用紙と同じ色の、虹色の橋が架かった未来の社会があります。選挙に対する真剣な面持ちと、希望を込めた意志が、その後ろ姿から感じられるポスターです。



入選（小学校の部）



木村 心玲

むつ市立第三田名部小学校(2年)

～審査員コメント～

花壇に咲く様々な種類の花に水をあげているところが描かれています。花たちは、水をもらって、また一段とあざやかに咲いているようです。人々も、この花たちのように明るく咲くことができるよう、未来をつくる選挙について考えさせられます。



佐藤 彪琉

青森市立大野小学校(4年)

～審査員コメント～

めいすいくんたちが、投票用紙を持って、明るい未来のための一票を呼びかけているポスターです。大きく描かれたレタリングが見やすく、絵も黒のふちどりではっきりと目に入ります。



大谷 向陽葵

八戸市立桔梗野小学校(5年)

～審査員コメント～

描かれているのは、18歳からお年寄りまでの様々な年代の人たちです。車いすの人もいます。職業もいろいろのようです。きちんと並んで投票をしている様子を、手前の人たちは大きく、後ろの人たちは小さく、遠近感を出して描きました。

入選（中学校の部）



長尾 亮佑

青森市立佃中学校(1年)

～審査員コメント～

投票に行く様子を参勤交代のような画面に置き換えて描いているアイデアが面白いポスターです。「いざ選挙に参る!」というコピーも図柄とよく合っており、一票を投じる気持ちの強さを感じさせます。



成田 葉琉

青森市立沖館中学校(2年)

～審査員コメント～

一羽の白い鳥を、伸ばした両手から飛び立たせようとする二人の18歳を、頭上からのアングルで描いています。コピーの「創」と「18」の二文字をあえて赤くしたことから、18歳の強い意志が感じ取れます。



梶山 航希

八戸市立北陵中学校(2年)

～審査員コメント～

ビートルズのアビーロードがイメージされる構図に、投票用紙を持った老若男女を配置し、選挙へ向かう様子を表現しています。道路標識には「投票所」の文字と矢印が示されるなど、細部にも工夫が施されています。

入選（高等学校の部）



中村 美月

青森県立浪岡高等学校(1年)

～審査員コメント～

鉢植えに水やりをする女性の姿は、未来にうるおいを与える一票の大切さを表しているように見えます。整理された画面構成や工夫された色の組み合わせで、まとまりのあるポスターになっています。



北山 凜

青森県立弘前実業高等学校(3年)

～審査員コメント～

一票に思いを込めて投票する大切さを、シンプルな形や構図で描いています。分かりやすい内容と、視認性の高い色づかいによって、見る人にメッセージが伝わりやすいポスターです。



白濱 愛莉

青森県立弘前実業高等学校(3年)

～審査員コメント～

力強い腕が一票を投じようとする場面が描かれ、「明日への期待」を込めた作者の気持ちが伝わってくるようです。レタリングも工夫されています。強調したいことがはっきりと見える作品です。

準入選（小学校の部）



鈴木 乃愛
むつ市立第三田名部小学校(1年)



南谷 龍伸
むつ市立第一田名部小学校(1年)



館野 結愛
むつ市立第三田名部小学校(2年)



横山 心乃
青森県立青森第一養護学校(3年)



依田 水輝
青森市立原別小学校(5年)



小向 連翔
八戸市立桔梗野小学校(5年)



長内 杏樹
弘前市立北小学校(6年)



三上 日菜乃
弘前市立北小学校(6年)

準入選（中学校の部）



門前 実桜
八戸市立大館中学校(1年)



赤坂 晴空
青森市立佃中学校(2年)



中沢 彩友香
青森市立佃中学校(2年)



盛野 愛紗美
三沢市立第一中学校(2年)



前田 芭菜
黒石市立黒石中学校(3年)



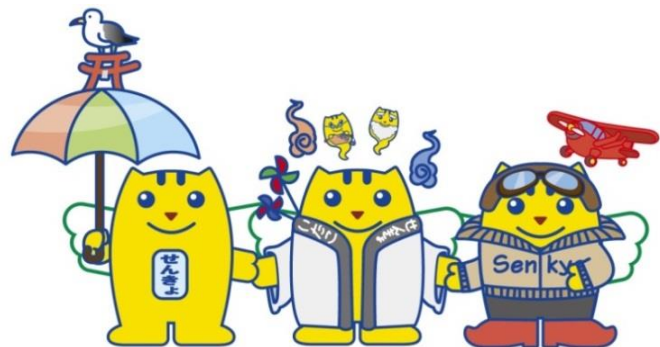
中澤 楓
三沢市立第一中学校(3年)



準入選（高等学校の部）



清藤 百花
八戸工業大学第二高等学校(2年)



佳作（小学校の部）



菅野 洸

むつ市立第三田名部小学校(1年)



神馬 叶奈

むつ市立第三田名部小学校(1年)



畑山 桃

むつ市立第三田名部小学校(1年)



渡部 煌

むつ市立第三田名部小学校(1年)



手塚 綾乃

むつ市立第二田名部小学校(1年)



山道 陽葵

むつ市立第二田名部小学校(1年)



向谷地 泰吏

八戸市立白銀南小学校(2年)



佐々木 逢有

むつ市立川内小学校(2年)



工藤 千唯子

むつ市立第三田名部小学校(4年)



太田 凧咲

八戸市立桔梗野小学校(5年)



工藤 獅子

弘前市立北小学校(6年)



鍋田 歩花

弘前市立北小学校(6年)



乗田 玲央奈

弘前市立北小学校(6年)



藤田 海春

弘前市立北小学校(6年)



宮澤 慎

弘前市立北小学校(6年)

佳作（中学校の部）



北浦 佑佳

八戸市立三条中学校(1年)



高橋 雨花

青森市立沖館中学校(2年)



佐々木 晃子

青森市立佃中学校(2年)



佐々木 優那

青森市立佃中学校(2年)



千葉 史緒

青森市立佃中学校(2年)



川下 大翔

青森山田中学校(2年)



後藤 礼智

青森山田中学校(2年)



工藤 日向

弘前市立第五中学校(2年)



田中 未那月

平川市立平賀東中学校(2年)



佐藤 実南

六戸町立六戸中学校(2年)

佳作（中学校の部）続



石亀 麻彩耶
八戸市立三条中学校(3年)



宮下 透子
八戸市立三条中学校(3年)



佐山 琴音
黒石市立黒石中学校(3年)



佳作（高等学校の部）



山縣 奏音
八戸工業大学第二高等学校(2年)



桑田 巳誠
青森県立弘前実業高等学校(3年)



青 森 県 選 挙 管 理 委 員 会
青 森 県 明 る い 選 挙 推 進 協 議 会